

峩朗万歳

私は上磯小学校卒業ですが、峩朗で生まれ5才まで住んでいました。それで、今回のふるさと訪問旅行では峩朗に行けるとのことで、大変楽しみにしていました。初日、早速峩朗鉱山に行き、生憎の雨でバスの車窓からの見学となりましたが、同じく峩朗出身の松井さんが、私の生家の場所を教えてくださいましたので、昔懐かしい峩朗の生活を思い出し、目頭が熱くなりました。

さて、旅行最終日の帰る時に私の母(88歳)が新函館北斗駅まで一緒に来てくれました。そこで峩朗出身



池田 均

の筒さんや武井さんと会うことができたのです。実に50余年ぶりの再会でしょうか。今回は会うことはないだろうと思っていましたが、こうしてできたので、少しは親孝行できたかなと嬉しく思いました。

今回、東京北斗会の幹事の皆様をはじめとして、北斗市の関係各位に大変お世話になりました。深く御礼申し上げます。大袈裟ではなく一生の思い出ができました。帰宅後数日間感動に浸っていて、仕事が手につきませんでした。沢山の感動、ありがとうございました。

追記:私の父・池田幸吉は昔、谷川小学校で教諭をしていた。母・秀子と巡り合い結婚し、峩朗に新居を構えた。3人の子供が生まれ、私はその2番目である。残念ながら父は平成16年12月に脳溢血で他界した。享年78歳。



ふるさと訪問旅行記

米田正彦(大野小学校出身)



6月24日の朝9時頃に東京駅新幹線ホームに参加する北斗出身者が集まって来ました。総勢49人が参加予定です。

ちょっと昔の修学旅行気分に近い、うきうきとした気分も感じますが、年齢的には60代から80代といふし銀の方々です。待ちに待った新幹線に乗れる、確か大野に新幹線が来ると言う話を聞いたのは17歳か18歳くらいの頃だった気がします。今年61歳なので40数年前の話がようやく実現したのです。本当に出来るまで長かったです。

さて、出発時刻です。何人かの方が上野から乗ろうとしたのですが、上野に停車しないと聞いて急きょ大宮から乗って来ることになった方、常磐線が遅延で時間に間に合わない方がいたり、心配事がありながらの出発でしたが、結果的にはうまく収まりました。

大野の参加者は大野小出身の同級生寺田光世さんと市ノ渡小出身の土屋治さんの3人です。そして3人も北海道新幹線は初めてです。



皆さんに帰りの切符等渡してから、各自買って来たお酒やつまみを分けあつての飲み会が始まりました。これはいつもの光景ですが、バスと違って新幹線の中は広くていいですね。1両の1/2位の座席を占めてましたから、ちょっと貸し切りばいのもいいですね。酒を酌み交わし、雑談している間に4時間があつと言う間に過ぎて、新函館北斗駅に到着しました。

改札を出たら北斗市長以下市の幹部連、なじみの「ずーしーほつき」が出迎えてセレモニーをして下さり、ちょっと感激でした。市長自ら駅舎の中も案内して下さい、田んぼアートもやっていて、旅行者に楽しんでもらおうとの意気込みが伝わってきました。

その後、市が提供して下さったバスに乗ってきじひき高原パノラマ展望台に案内されましたが、あいにくの雨模様で自慢の景色が全く見えなかったのは残念でした。

その後、上磯セメント工場を初めて見る事が出来ました。工場の歴史や、あと300年も製造できる山を持っていることや、日本でも有数の工場である事の説明がありびっくりしました。大野側から見る峩朗の山は、帰郷するたびに年々はげ山になり、昔と比べて高さも低くなり、年月がたったなと感じられます。

アンビックス上磯ゴルフクラブでの懇親会は市長はじめ市の幹部、議員さん、商工会、農協・漁協などなどの名士の方々とお話ができ、とても楽しかったです。自分の2世帯住宅を大野本町に建ててくれた市議会議員にも久しぶりにお会いでき、母や亡くなった父がお世話になっている市議会議員にも挨拶ができ大変嬉しかったです。

訪問旅行を受け入れて下さった故郷の皆様の温かい気持ち、ひしひしと心に伝わりました。本当にありがとうございました。